

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
いのち教育論	28
教育課程行政特論	30
心身医学特論	30
数学教育学基礎論	30
教育課程行政特論	30
持続発展教育と地球環境問題特論	30
精神医学特論/精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	30
健康教育の方法及び技術	30
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	30
国文学演習B	24
英語文化圏文学特論/英語文学特論	30
金属加工学特論	30
総合芸術と表現活動/音楽教育と芸術表現活動	30
指揮法研究	16
木工芸研究	60
日本語教育学特論	30

イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
スラブ文化事情	30
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習 I	30
社会教育演習 II	30
情報科指導法(授業論)	30
学校図書館メディアの構成	30
情報メディアの活用	10
情報と職業	28
情報科指導法(授業論)/情報科指導法(授業・教材論)	30
生涯学習概論B	30
教育本質論	30
保育・表現の指導法	15
保育・健康の指導法	30
家庭の教育と育児	10
子どもの福祉	30
社会福祉 I	30
社会福祉 II	30
養護内容	30
保育者論	30
身体表現の基礎	16
漢文学講読	30
中等国語科指導法(授業論)	14
国文学演習B	28
国語総合研究	16
国語学講読A	30
コミュニケーション英語A II (Bグループ)	32
コミュニケーション英語A II (Cグループ)	30
コミュニケーション英語B II (Bグループ)	32
コミュニケーション英語B II (Cグループ)	32
コミュニケーション英語C I (Aグループ)	32
コミュニケーション英語C I (Cグループ)	32
コミュニケーション英語C II (Aグループ)	32
コミュニケーション英語C II (Bグループ)	30
コミュニケーション英語C II (Dグループ)	30
英語音声学	30
英文学演習/英語文学演習	30
英語文化圏文学	30
比較文化	30
英語学概論	30
人文地理学概説	30
地誌学概説	6
地理情報学	30
政治学概説	28
社会学概説	30
ヨーロッパ史認識論	30
哲学概説	30
算数科指導法(免P)	14
算数科指導法(ABグループ)	15
算数科指導法(CDグループ)	15
数学的経験と学習過程	20
数学科指導法	20
計算機数学演習	15
算数(免P)	30
物理学	14
物理学実験	30
電磁気学	30
化学	10
化学実験	20
音楽	42
音楽(免P)	22
独唱Ⅲ・日本音楽B(日本の伝統的な歌唱を含む。)	30
合奏B・日本音楽A I	30
美術史論	30
スノースポーツ	30
ボールゲーム	30
体育	28
体育(免P)	8
ダンス	30
金属加工法	30
被服学	15
調理の理論と実習	45
住居学(製図を含む。)	10

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活科指導法A	教科「生活」及び「総合的な学習の時間」の実践について、附属小学校の指導案を通して、理解を深める。	4
総合・生活科指導法B	総合・生活科指導法の実践的指導力の基礎の育成を図る。主に、資質能力と総合的な学習の関係、グローバル人材の育成、キャリア教育についての講義・演習を行う。	6
総合的な学習の時間の指導法	「総合的な学習の時間」の指導の実践について、主に、資質能力と総合的な学習の関係、グローバル人材の育成、キャリア教育についての講義・演習を行う。	4
学習場臨床学	もの・こと・人と相互作用的に関わり合うことで社会的・文化的・歴史的に意味や価値を生成し更新していく子どもの学びの成り立ちとその過程、及びそこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
表現・人間学基礎論	表現行為を通じた子どもたちの学びと自己の成り立ちの過程の実際と、そこにおける教師の姿勢、視点、思考、関わりについて各教科、道徳、総合的な学習の時間等の事例を通して実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎（介護等体験の指導内容を含む）	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	4
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	18
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	6
初等社会科指導法	現職教員の立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。	12
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	16
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
初等音楽科指導法	「特別活動」での音楽劇の実践事例をもとに、題材の想起、構成、実践など教員に必要な資質・能力について解説していただく	10
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	6
図画工作科指導法	図画工作科の教材とその指導法について、実践的立場から演習を行う。	18
初等体育科指導法	現場実践を踏まえた授業補助（教育実習の事前および事後）	8
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	4

※教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	8
家庭の教育と育児	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。特に3歳未満児の教育・保育を対象とする。	8
実践セミナー「家庭」	小学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	8

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習指導Ⅰ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。 児童養護施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	4
保育実習指導Ⅲ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	8
保育実習指導Ⅳ	療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	2
介護等体験（社会福祉施設）事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けての授業の質的充実のため	72

③ ティーチングアシスタント

修士課程学生

(令和元年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習・共通	五百川 裕 他	通年	不定期	20 時間
体験学習・A	五百川 裕 他	通年	不定期	20 時間
体験学習・D	東原 貴志 他	通年	不定期	6 時間
体験学習・H	長谷川 正規 他	通年	不定期	20 時間
生活の中の科学	東原 貴志	後	金 5	15 時間
生活の中の科学	大森 康正	後	金 5	15 時間
プログラミング教育基礎演習	大森 康正 他	前	集中	27 時間
教養スポーツ (Aグループ)	榊原 潔 他	前	水 2	20 時間
教養スポーツ (Bグループ)	榊原 潔 他	前	水 2	20 時間
教養スポーツ (Cグループ)	榊原 潔 他	前	木 2	20 時間
教養スポーツ (Dグループ)	榊原 潔 他	前	木 2	20 時間
ウォータースポーツ	松浦 亮太	前	集中	30 時間
スノースポーツ	榊原 潔 他	後	集中	30 時間
ボールゲーム	榊原 潔 他	前・後	集中 後金 2	30 時間
国際理解教育入門	釜田 聡	前	月 3	16 時間
教育情報演習 (Bグループ)	大森 康正	後	金 3	30 時間
教育情報演習 (Cグループ)	高野 浩志	後	水 1	30 時間
教育情報演習 (Dグループ)	石川 真	後	木 2	30 時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	木 3	80 時間
図画工作 (Aグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	金 3	30 時間
図画工作 (Bグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	木 1	30 時間
図画工作 (Cグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	火 3	30 時間
図画工作 (Dグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	木 4	28 時間
体育	池川 茂樹 他	前	火 4	42 時間
算数科指導法 (A・Bグループ)	高橋 等 他	前	木 2	19 時間
算数科指導法 (C・Dグループ)	高橋 等 他	前	火 2	20 時間
総合・生活科指導法B	釜田 聡, 渡辺 径子	前	金 2	15 時間
総合・生活科指導法B	釜田 聡, 渡辺 径子	前	水 6	15 時間
初等音楽科指導法 (A・Bグループ)	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	月 2	30 時間
初等音楽科指導法 (C・Dグループ)	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	木 2	30 時間
図画工作科指導法 (A・Bグループ)	阿部 靖子, 五十嵐 史帆	前	火 3	30 時間
図画工作科指導法 (C・Dグループ)	阿部 靖子, 五十嵐 史帆	前	木 1	30 時間
初等体育科指導法 (A・Dグループ)	周東 和好 他	前	月 1	30 時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
初等家庭科指導法	小高 さほみ, 佐藤 ゆかり	前	火 1	15 時間
コミュニケーション英語 B I	松崎 邦守	前	水 2	30 時間
コミュニケーション英語 B II	松崎 邦守	後	木 2	25 時間
コミュニケーション英語 B I	野地 美幸	前	木 2	30 時間
コミュニケーション英語 C II	野地 美幸	後	火 1	30 時間
小学校英語指導法 (Aグループ)	松崎 邦守	前	火 2	13 時間
小学校英語指導法 (Cグループ)	松崎 邦守	前	火 4	12 時間
心理学実験	越 良子 他	後	木3.4	20 時間
カウンセリング基礎演習	近藤 孝司	後	水 2	20 時間
書写書道 I	押木 秀樹	後	月 3	20 時間
書写書道 II	押木 秀樹	前	月 3	20 時間
英語学演習	野地 美幸	前	水 2	20 時間
計算機数学演習	林田 秀一 他	後	木 4	20 時間
地学実験	濤崎 智佳, 天野 和孝	前	月4.5	20 時間
生物学実験	中村 雅彦, 谷 友和	前	木4.5	20 時間
物理学実験	小川 佳宏	後	月3.4	20 時間
化学実験	下村 博志	後	火4.5	20 時間
指揮法	長谷川 正規 他	前	木 5	20 時間
造形基礎 (A・Cグループ)	洞谷 亜里佐, 伊藤 将和, 安部 泰	前	月 5	20 時間
造形基礎 (B・Dグループ)	松尾 大介, 兪 期天	前	月 4	19 時間
日本画表現	洞谷 亜里佐	前	火 4	20 時間
デザインワーク I	安部 泰	後	木 3	20 時間
工芸表現 (陶芸)	兪 期天	前	木 4	20 時間
彫刻表現 I	松尾 大介	後	木 5	20 時間
油彩画表現	伊藤 将和	後	火 4	20 時間
人物画実習	洞谷 亜里佐, 伊藤 将和	前	集中	12 時間
総合造形表現	兪 期天	後	月 3	20 時間
身体表現の基礎	榊原 潔	前	金 2	20 時間
球技	榊原 潔	後	火 4	20 時間
体操・器械運動	周東 和好	後	水 2	17 時間
栽培法	山崎 貞登	前	木 3	20 時間
木材機械加工法	東原 貴志	後	月 4	20 時間
木材手工具加工法	東原 貴志	前	木 5	20 時間
機械工学実習	黎 子椰	後	木 4	20 時間
電気工学実験実習	岡島 佑介	前	木 4	20 時間
保育学実習	吉澤 千夏	通年	集中	20 時間
被服製作の理論と実習	佐藤 悦子	後 (後半)	火3.4.5	20 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
SDGs時代の教育課程の編成・実施の実際	釜田 聡 他	前期	火 2	9 時間
国際理解教育の理論と実際	釜田 聡	前期	火 4	20 時間
総合学習カリキュラムデザイン	釜田 聡	前期	木 3	18 時間
SDGsに対応したワークショップの理論と実際	釜田 聡 他	前期	金 3	6 時間
中国語・中国事情	黎 子椰	前期	月 3	30 時間
塑造研究（塑造研究Ⅰ）	松尾 大介	前期	金1・2	23 時間
実材研究	松尾 大介	後期	火1・2	10 時間
人体表現研究（塑造研究Ⅱ）	松尾 大介	前期	集中	12 時間
意味生成表現と教材開発	松尾 大介, 松本 健義	不定期	火 2	37 時間
図画工作	松尾 大介 他	前期	金 3 ほか	25 時間
表現・相互行為教育演習	松本 健義 他	前期 (前)	火 1	3 時間
美術表現学習過程論	松本 健義	前期	月 4	13 時間
学習臨床学特論	松本 健義	前期	不定期	13 時間
造形表現学習過程特論	松本 健義	前期	月 5	23 時間
意味生成表現と教材開発	松本 健義	前期	不定期	37 時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

(令和元年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木 秀樹 他	前	金 1 一部集中	30 時間
社会	畔上 直樹 他	前	火 5	30 時間
理科	古屋 光一 他	後	月 2	25 時間
音楽	平野 俊介 他	通年	月 6	12 時間
図画工作	洞谷 亜里佐 他	前	木 6	57 時間
体育	松浦 亮太 他	通年	前期集中 後期火 5	43 時間
家庭	小高 さほみ 他	前	月 2	30 時間
初等道德教育論	林 泰成, 早川 裕隆	後	木 1	28 時間
中等道德教育論	林 泰成, 早川 裕隆	後	火 1	25 時間
初等特別活動論	高橋 知己	前	木 2	30 時間
中等特別活動論	高橋 知己	前	金 1	30 時間
算数科指導法	布川 和彦 他	後	水 6	30 時間
初等音楽科指導法	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	火 2	30 時間
図画工作科指導法	阿部 靖子, 五十嵐 史帆	後	木 6	30 時間
初等体育科指導法（Bグループ）	周東 和好 他	前	月 1	30 時間
初等体育科指導法（Cグループ）	周東 和好 他	前	水 1	30 時間
初等家庭科指導法	佐藤ゆかり 他	前	木 6	30 時間
初等生徒指導論	安藤 知子, 稲垣 応顕	後	月 1	15 時間
中等生徒指導論	安藤 知子, 稲垣 応顕	後	月 1	15 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 敏恵 他	後	木 2	30 時間
初等キャリア教育論	山田 智之	後	月 1	15 時間
中等進路指導・キャリア教育論	山田 智之	後	月 1	15 時間
日本国憲法	小島 伸之	後	水 1	30 時間
キャリア教育論	山田 智之	後	月 6	15 時間
人権・同和教育	蜂須賀 洋一	後	金 1	30 時間
特別支援教育基礎	村中 智彦 他	前	木 5	30 時間
特別支援教育概論	村中 智彦 他	後	木 5	30 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

(令和元年度)

任用期間	研究補助業務 担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト 代表者
令和元年6月1日 ～令和2年3月31日	142時間	地理情報システム (GIS) を活用した防災教育の構築	社会系教育連合講座	山縣 耕太郎 教授
令和元年6月1日 ～令和2年3月31日	72時間	日中韓「異己」理解・共生授業プロジェクト	学校教育方法連合講座	釜田 聡 教授